

CHALLENGER

[挑戦者たち] 18



tajima airport

コウトリ但馬空港

但馬地域に「コミューター空港」を造る
それは全国でも類を見ない挑戦だった
幾度となく立ちちはだかる大きな壁
ゼロから始まった空港建設に迫る

高速交通空白地帯

「県内1時間交通を目指して」。昭和60年、但馬空港の建設候補地である急峻な山の細道を、あえぎながら登る男たちがいた。

兵庫県の空港整備担当者は、「こんな山頂に空港ができるなんて、本当に夢のようだ」と思った。

「高速交通空白地帯」。昭和60年代初頭、兵庫県北部の但馬地域は、神戸・大阪から直線距離でわずか約100キロの位置にありながら、中国山地で隔てられているため、高速道路や鉄道の整備が遅れていた。

県南部では中国自動車道や阪神高速道路、丹波地域では昭和61年に舞鶴自動車道が福知山まで開通し、淡路島も明石海峡大橋の工事が進められていた。

「このままでは但馬が埋没してしまうのでは」。危機感を募らせる住民たち。高速交通の整備は、過疎化や高齢化といった問題を抱える但馬の人々にとって、まさに悲願であった。

「谷間(タニマ)」とは、但馬の語源ともいわれる。「県内1時間交通」の早期実現には、但馬の険しい山々が立ちほだかっていた。

手探りの空港建設

「コミューター航空を導入する」。コミューター航空とは、当時、欧米で成果を上げていた「地域航空」システムであった。

交通需要の少ない地域でも、小型機と小型空港を使用することで、他の高速交通機関よりもコストが抑えられ、厳しい自然条件という課題もクリアできる利点を有する。県では

コミューター航空の導入が最善であると考えていた。

しかし、日本では、一部の自治体で検討が始められた程度であった。「但馬空港建設の調査が始められた頃は、まだコミューター航空という言葉はほとんど一般に知られていませんでした」と、当時、担当をしていた松田は語る。

さらに、兵庫県としては、初めての空港整備。しかも、前例のないコミューター空港の建設である。何もかも分からないことばかり。連日連夜、専門用語の解説書や手引書を片手に悪戦苦闘する日々が続いた。

「新しい事業だけに、国も申請の許可に対して慎重でした。特に但馬は、雪や霧といった空港建設には厳しい気候条件があります。安全上の理解を得ること一つをとっても大変

夢の住まいづくりをお手伝いします

設計から施行、管理までトータルプロデュース

新築、リフォームはもちろん、水漏れやトイレ詰まりも!

建築なら全ておまかせ



どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。

お見積り無料!

〒668-0015兵庫県豊岡市一日市1676-17 ☎0120-577-406

TEL.0796-24-6350/FAX.0796-24-9577/http://www.shineikensoku.com/

信頼と安心の証!
公共工事実績多数



専門スタッフがサポート!

測量・土木設計・土木施行管理・土木工事

有限会社 新栄建測



一級建築士事務所 建築設計/工事・住宅設備工事

シンケンホーム [住宅事業部]



平成28年開港時の伊豆空港

でした。一つの課題をクリアしたと思つたら、さらに次の課題をつきつけられる」。

松田は、帰りの新幹線ではいつも落胆し、苦い缶ビールを飲んだ印象が強く残っているという。

また、用地取得に対しても、地権者全員の同意が条件とされていた。説明会や騒音テストなどに奔走し、全地権者同意のメドが立った昭和63年12月、コミュニティー専用空港としては初めてとなる申請書が無事受理される。

「大きな壁を乗り越えた」と、祝杯を上げる関係者たち。しかし、その背後にはさらなる高い壁が待ち受けていることを知る由もなかった。

飛ばす飛行機がない

平成元年2月、空港設置が国から認可され、翌年10月、いよいよ空港本体の工事が始められた。

そんな矢先、空港建設を揺るがす「大事件」が起こった。運行を予定していた航空会社が経営不振に陥り、コミュニティー事業から撤退することになったのだ。

「空港ができて飛ばす飛行機がない」。元空港鉄道課長の園山は、「大変なことになった」と思った。

この日から、新たな航空会社を確

保すべく、全国の航空会社を走り回ることが最優先業務となった。

しかし、折からのバブル崩壊で、大手航空会社も動き始めたばかりのコミュニティー航空に乗り出す機運はない。何度も各航空会社を訪れるが、よい返事が返ってくることはなかった。

「本当に開港できるのか」。不安だけが募っていった。

そんな中、当時の日本エアシステム（JAS）が前向きに検討してくれることになった。

しかし、交渉を進めていく過程で、さらなる問題が浮き彫りになる。大阪国際空港の乗り入れや採算面を考慮すると、当初予定していた19人乗り航空機よりも、さらに一回り大きい30席以上を確保できる航空機の導入が必要不可欠となった。

そのためには、計画していた100メートルの滑走路では安全面などの確保が難しく、1200メートルへ延長しなければならぬ。

その間にも、休むことなく進んでいく工事。建設工事途中での滑走路変更は、前代未聞の出来事だった。

厳しい地形条件

空港設置許可が下りた後での滑走路の計画変更。旧運輸省との調整は難航を極めた。最終的には、延長部分

もう夢、予約しましたか？

まだ間に合う!? 来春の進学、その夢予約しませんか？

オープンキャンパスで、約80のうち興味ある模擬授業に参加する。自分だけの好奇心を進路決定にいかすチャンスです。

「BAIKAに興味がある!」と高校の先生に伝えてください。進路決定に今のガンバリがいけるチャンスかも

さあ夢と希望が実感できるBAIKA発未来行き、ご期待ください。

<http://www.baika.ac.jp/>

オープンキャンパスにてあなたの好奇心にお応えする約80の模擬授業を特別開講します。

2007 開催日 **9/29 土** 講座内容・開講時間等、詳しくは左記梅花ホームページをご覧ください。

入学説明会 入学説明会も各地域にて開催中。詳しくは、お問い合わせください。
9/20(水) じばさん但馬15:30~18:00 9/26(水) マリアージュ福知山15:30~18:00

交通：JR京都線「茨木」駅からスクールバス運行(無料)キャンパスまで約20分
◎所在地：大阪府茨木市宿久庄2-19-5

お問い合わせ Tel. **072-643-6566**

あなたの可能性を一緒に探したい。
梅花女子大学 / 大学院
梅花女子大学短期大学部



の造成完了後、改めて変更許可申請を行うことで了解を得ることになる。

最悪の事態は回避されたが、施工計画は修正を余儀なくされた。空港予定地の険しい地形が難題を突きつける。一難去ってまた一難。関係者は頭を抱えた。滑走路をさらに200メートルも延長するには、周囲の地形条件に余裕がなく、かなりの難工事になることは明白だった。

盛土の高さが約70メートル、総土量が約800万立方メートルという、コンピューター空港建設では極めて大規模な工事。冬は但馬地方特有の天気と雪で、ほとんど工事ができない中、現場一丸となって進められた。

「滑走路の建設は、空港整備の根幹に関わる重要なこと。何とか解決できたのも、担当者の粘り強さや関係者の協力によるものです」と、工事責任者は当時を振り返る。

こうしてためまない努力の結果、平成5年6月、施設変更が許可。途中で航空会社や滑走路の変更があつたにもかかわらず、当初の予定通り完成。平成6年5月18日、知事や関係者が見守る中、夢を乗せた日本エアコミューターのサーブ340B型一

番機が但馬空港へ無事着陸した。歴代の空港整備担当者、一番機が見えた瞬間、体が震えた。「本当にできたんだ」。今までの苦労が走馬燈のように甦った。

ゼロからの空港建設。一番機に続いて大阪へと飛び立った飛行機は、まさに地域活性化に向けた期待が羽ばたく瞬間だった。

但馬と大阪間をわずか35分で結ぶ但馬空港。搭乗者数も順調な滑り出しを見せていたものの、搭乗率や就航率の向上は、最優先課題。特に冬場は雪の影響による就航率の低下が懸念されていた。

天候との戦い

「弁当忘れても傘忘れるな」。但馬の気候は目まぐるしく変わる。神戸の県庁で勤務していた元空港整備課長の山口は、いつも但馬の天候が気になることが、いつしか日課になっていた。追い打ちをかけるように、平年を上回る大雪、そして、阪神・淡路大震災が、開港初年度を襲う。当然、搭乗率は下がっていった。

「搭乗率を上げるには地道な努力しかない」。地元はもちろん、大阪の企業や県人会など、職員たちによる足を使つてのPR活動が続けられる。地元の利用者に向けては、助成金制度を確立するなど、地元と一体となつて利用促進の策が講じられていった。

そうした結果、所要時間と利便性が、ビジネスマンを中心に徐々に広く知れ渡っていくようになる。特に東京への乗り継ぎは、利用者が増えていった。

また、平成13年には、飛行機を誘導する無線装置「ローカライザー」の供用が開始。霧・低い雲・雨などの視界不良時でも、安全に離着陸が可能になり、就航率はもちろん、搭乗率もアップ。

昨年は、開港以来最高となる、2万8069人の利用者を数えた。これは開港以来、着実に種を蒔いていった関係者の努力の成果といえる。

悲願に向けて

14年目を迎えた但馬空港。北近畿唯一の空港として、地域活性化に大きな役割を果たしてきた。年々利用

「バティック・バック」の品々
～アールヌーヴォーの風をうけて～
インドネシアの伝統的な調染であるバティック生地を使用し、自然の素材と人間の手仕事の繊細さを組み合わせた、美しく調和の取れた作品です。

ビーズ刺繍入りシルクバティックバック



日本の女性が美しくありますように
凛とした着こなしをご提案いたします



おしゃれきもの
野木纏家

京都府京丹后市大宮町口大野173番地
電話：0772-64-2241
URL：http://www.nogimatoya.jp/
営業時間：10:00～19:00 定休日：水曜日

大人のあなたに…
愉しいきもの



朝夕2往復4便、但馬～大阪間をわずか35分で結ぶ、日本エアコミューターのサーブ340B型機(写真:加嶋人助さん)



急遽1200メートルに延長された滑走路

者が増え、今年の秋には、開港からの搭乗者数が大台の30万人に到達することが確実だ。

今、地元では、3年後に予定されている羽田空港の新滑走路増設をにらみ、開港以来の悲願である東京直行便実現への期待が高まっている。

但馬空港の利用促進やPRに取り組む但馬空港推進協議会(市町・商工団体・観光協会・自治会など119団体で構成)は、府県の壁を越えて連携を深めようと、京都府丹後地域へのPR活動を始動させた。

さらに、東京直行便実現には、首都圏からの利用者の増加が何よりも重要。「但馬をたじまと呼んでもらう」ことを目標に、自然豊かな但馬の魅力を積極的にPRしている。

また、秋には全国規模で開かれる

「地域航空フォーラム」を豊岡市に誘致。東京直行便の実現を目指した取り組みが、力強く動き出している。

地元の関係者の一人は、「ゴウノトリ但馬空港は、但馬の将来にとってかけがえない施設。もつと多くの人に利用してもらい、大きな目標が実現できるようにがんばりたい」と熱く語る。

幾度となく立ちちはだかる壁を、絶えず乗り越えてきた但馬空港の歩み。その歴史が、東京直行便の実現へ大きく後押しすることは間違いないだろう。新たな夢を乗せた「夢ひこうき」が今、東の空へと大きく飛び立とうとしている。

取材協力：園山哲夫、松田昭男、山口昇、間為展(敬称略、順不同)
参考文献：『但馬空港工事誌』

※13ページに関連記事



毎年、夏には、「但馬空港フェスティバル」が開かれる。エアショーやモーターパラグライダーのデモフライト、熱気球体験など催しも多彩

「酒楽」おすすめの
歳元直送地酒・焼酎お買い上げの方

先着 **100名様にプレゼント!**
※お一人様につき1個となります

または

宮城県三陸海岸の
「ほやの塩辛」 110g入 1個

清酒造りと
同じ米麴のみ使用
「純正あま酒」 300g入 1本

酒楽厳選!
他店では
手に入らない

気軽に飲めて
味わい豊かな **晩酌用!**

「養甘露(芋)」 「麦心(麦)」 「葉隠れ(麦)」
好評中発売中!

道の駅
「但馬楽座」前

しゅらく
酒一陸 酒楽

兵庫県養父市上野1060 TEL・FAX 079-664-2345
HPアドレス: <http://www.4ocn.ne.jp/~hirayama/>